



寒東寺残日録 坪井 幹之

プロローグ
四月の総会で顧問に指名された。難聴につき固辞したが、多勢に無勢、時間切れで押し切られた。会に出て議論に参加する自信はない。それにボケも進行、役に立ちそうにない。なにかできることはないか、と考えて思いついたのが機関紙「高退協ニュース」への投稿である。高退協の運動の中でこの「ニュース」の結果たす役割は大きい。が、書き手が少ないのが悩み。誘いに「ボキヤ貧」が書いた悪文を載せるのもひとつの手かも知れない。これがこの投稿

「老眼鏡」

「昭和の記録」のビデオをみながら、久しぶりに憲法を読んでみました。
オーバビビ氏が「不幸なことにも9条は今、日本国内でも国際的にも攻撃されている」と憂い、「日本人がいま9条を守らなければ、だれが守るのか」と問う。
「恒久平和のために」
深瀬忠一他(勤草書房)
「現在」における第9条の意義を、1「普通の国」が個人・民族・人類の存続自体を脅し、経済、財政の破綻をもたらし、その憲法に掲げる基本理念の達成を困難または不可能としている。
2「現在」における世界の諸経験をふまえて、戦争と軍備についての伝統的な考え方を本格的かつ批判的に再検討することを余儀なくされている。
3総じていふならば、「現在」が問われている根本問題は、いづれの国においても、また人類的レベルにおいても、第9条以外に、たどるべき道があるか、である。
第45回母親大会での大田さんの話を聞き、平和を守る行動に出ることこそ、国民に求められていることだと強く感じました。

を手がける動機である。
題名は「日残りテケルルニ未ダ遠シ」の名文句で始まる「三屋清左衛門残日録」より借用した。この藤沢周平さんの小説をテレビ化した時代劇は面白かった。なかでも清左衛門役の仲代達矢と嫁の里江役の南果歩とのほのぼのとしたやりとりはいまだに印象に残っている。
原作の残日録は藤居清左衛門の日記のようであるが、これからの手記の中身は、個人的な身辺雑記か、たかだかその都度感じた老いの繰り言にとどまるだろう。あらかじめお断り申し上げる、妄言お許しあれ。

旅のしおり

いつきの里

人は誰もふつと旅心を誘われる時がある。そんな時私が一寸出掛けるお気に入り場所がある。どうとういうことは無い鳥取県との県境にある岡山県の上斎原村という温泉のある小さな村である。最初のきつかけは、幼馴染みの友人から「貴女の好きそうな所だ、一度行ってみれば」と誘われたこと。それから年に一度四年程四季を変えて訪れている。何が気に入っているかと言うと、この東北の奥津町、上斎原村にまたがる県立の広大な森林公園、その天然林の四季それぞれの自然のたゞずまい彩りが大好きなのである。
最初の年は十月の終り紅葉をと思つて出掛けたが、既に落葉していて、よく整備された広い登山道に森林の大部分を占めるブナ、ミズナラ等の落葉広葉樹の落葉が一杯に散り敷いて、その何とも心よいクッションを踏みながら頂上(一〇九〇米の千軒平)に達した時、折しも当地でも初めて雪が降り出しそれは見るみるうちに、登山道を白く覆い、間近に見る鳥取県側の山並みも白い世界。なかに雪を踏みしめながら歩く自然林の口ケーションの素晴らしいにまず感動してしまつたのである。この広葉樹林が新緑の頃

第15回 平和映画祭
日中合作映画
「チンパオ」
とき
8月14日(土)
①午後7時～8時40分
8月15日
②午前10時～11時40分
原作者 黒蔵次男氏講演
午後1時30分～1時50分
③午後2時～3時40分
ところ
県民文化ホール(グリーン)
前売券
一般1300円(当日1800円)
小中学生 } 1000円
シニア } (当日1400円)
お求めは
梅原憲作 TEL844-3628
古味忠男 TEL873-7123

はどんなに素晴らしいだろう、きつとその季節に又、という期待を抱かしてその夜は村で一軒だけある温泉宿「国民宿舎いつき」(山法師のこと)に泊まつたが、その温泉のぬくもりを忘れられなくなつた。季節を変えて夏も行って見たが、今年初め仲間の友人達と登つた。その新緑の見事さ、ブナの大樹の間からふりそぐ太陽に透き通つた若葉の風のそよぎ、新緑を縫つて歩く登山道の湿原には見事な「ザゼンソウ」、又樹林の中から白い清楚な姿で迎えてくれる「チゴユリ」。「ミヤマカタバミ」「ユキザサ」「ツクバネソウ」等々山野草好きの私達を充分満足させてくれる草花、新緑の季節も期待通りであつた。この四季を通じて変化する緑豊かな天然林を歩く登山道が一番のお気に入りなのだ。小さな村で温泉宿が一つというのも、時間があるれば恩原湖周辺を散歩するもよし、又、昭和三十年に日本で初めてウラン鉱床の露頭が発見されたという人形峠に原子力平和利用の目的で創設された「人形峠展示館」「アトムサイエンス館」を見学するもよし、見所は色々ある。
この四年間に高速道路は延び、又いつの間にか大きなパイパスが通つたりして短時間で気軽に行けるようになったが、途中にも結構楽しめる所はあつて、伊部で備前焼に堪能したり、閑谷学校の紅と黄に染まる燃えるような一對の楷の木に感嘆したり、又道を変えて蒜山高原でパーベキューもよしと寄り道は色々あるが、中国自動車道、院庄ICから奥津温泉を経て行く道が最短距離。手つかずの豊かな自然林はどの季節もい

7月2日、試写会があり高退協から3名が観賞しました。今年の「平和映画祭」の作品です。8月14・15日、県民文化ホールで上映されます。
高退協事務局会で集まつた、一万四千元は、ピースウエイブに届けました。
チンパオ
7月6日、試写会があり高退協から3名が観賞しました。今年の「平和映画祭」の作品です。8月14・15日、県民文化ホールで上映されます。
高退協事務局会で集まつた、一万四千元は、ピースウエイブに届けました。
チンパオ
7月6日、試写会があり高退協から3名が観賞しました。今年の「平和映画祭」の作品です。8月14・15日、県民文化ホールで上映されます。
高退協事務局会で集まつた、一万四千元は、ピースウエイブに届けました。
チンパオ

